

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-42 <input type="checkbox"/> 支援部門		バイオマスエネルギー回収施設整備事業				
主管課	下水道課	関連課	浄化センター、環境部				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	下水汚泥と生ごみを集約処理し、エネルギーを回収する施設の整備						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数	171,165人					
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	633	—	—			
	(国・県)	0	—	—			
	(負担金等)	0	—	—			
	(一般財源)	633	—	—			
	人員配置数	0.3	—	—			
	人件費(千円)	2,636	—	—			
	協働のパートナー	—	—	—			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	3,269	—	—			
	市民1人当りの経費(円)	18	—	—			
	対象者1人当りの経費(円)	19	—	—			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。		
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。		
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
バイオマスエネルギー回収施設整備事業	633千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A □B <input checked="" type="checkbox"/> C □D □E
	事業の概要	おおむね10年程度の下水道政策の基本的整備目標並びに具体的施策を決定するもので、バイオマスエネルギー等の未利用エネルギーの活用をふまえたビジョンの策定を行う。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	山崎浄化センターバイオマスエネルギー回収施設の整備については、中止の方向となった。					
課題解決のための取組						
未解決の課題						
今後の方針	今後は、下水処理場における未利用エネルギーの利活用を実施の可能性について調査・検討を行う。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	D	※ <input type="checkbox"/> 事業完了	課長名	下水道課長 大坪 隆

